

我が国の実質GDP（令和3年5月18日発表）

項目	年度	2020
国内総生産(GDP)		-4.6
国内需要		-4.0
民間需要		-6.5
民間住宅		-7.1
民間企業設備		-6.9
公的需要		3.2
公共投資（公的固定資本形成）		4.0

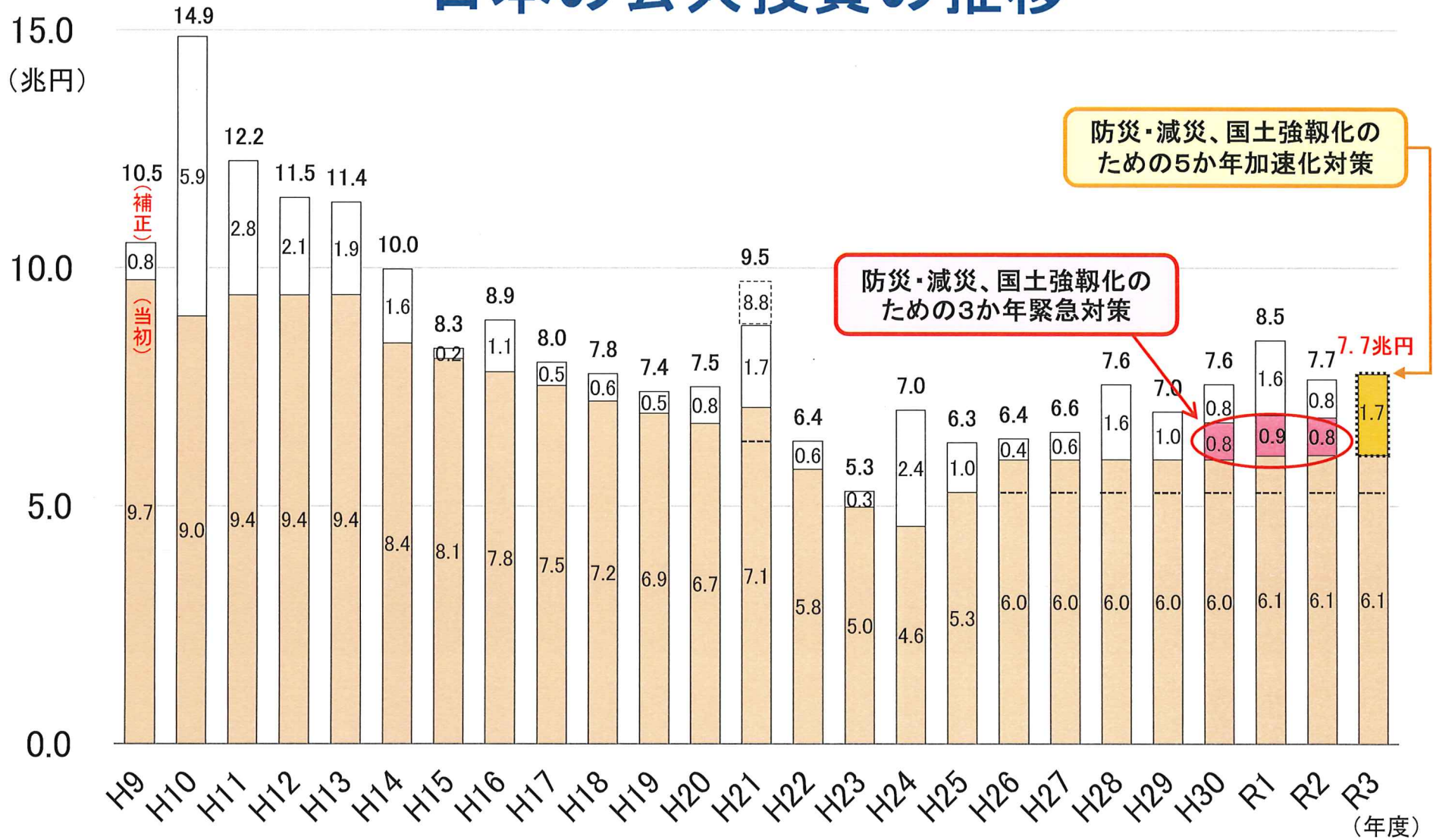
令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料1

自由民主党・国民の声 足立 敏之

出典：内閣府経済社会総合研究所・国民経済計算部「2021年1～3月期

四半期別GDP速報」（令和3年5月18日）を基に足立敏之事務所加筆・編集

日本の公共投資の推移



令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料2
 自由民主党・国民の声 足立 敏之
 出典:国土交通省資料を基に足立敏之事務所加筆・編集

世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング

資料3

[1984年]

	港名	取扱量
1	ロッテルダム	255
2	ニューヨーク/ニュージャージー	226
3	香港	211
4	神戸	183
5	高雄	178
6	シンガポール	155
7	アントワープ	125
8	基隆	123
9	ロングビーチ	114
10	横浜	110
⋮		
12	釜山	105
⋮		
15	東京	92
⋮		
31	大阪	42

[2019年(速報)]

(単位:万TEU)

	港名	取扱量
1 (1)	上海(中国)	4,330
2 (2)	シンガポール	3,720
3 (4)	寧波-舟山(中国)	2,753
4 (3)	深圳(中国)	2,577
5 (7)	広州(中国)	2,324
6 (6)	釜山(韓国)	2,199
7 (8)	青島(中国)	2,101
8 (7)	香港(中国)	1,836
9 (9)	天津(中国)	1,726
10 (11)	ロッテルダム(オランダ)	1,481
⋮		
34(29)	東京	501
⋮		
61(59)	横浜	299
⋮		
67(65)	神戸	287
⋮		
68(67)	名古屋	284
⋮		
80(76)	大阪	246



[注] 数値は
いずれも
外内貿を含む。
ランキングに
おける()内
は2018年の
順位。

令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料3
自由民主党・国民の声 足立 敏之
出典: Containerisation International Yearbook 1987、Lloyd's List 資料、「港湾統計(年報)」を基に
国土交通省作成、足立敏之事務所編集

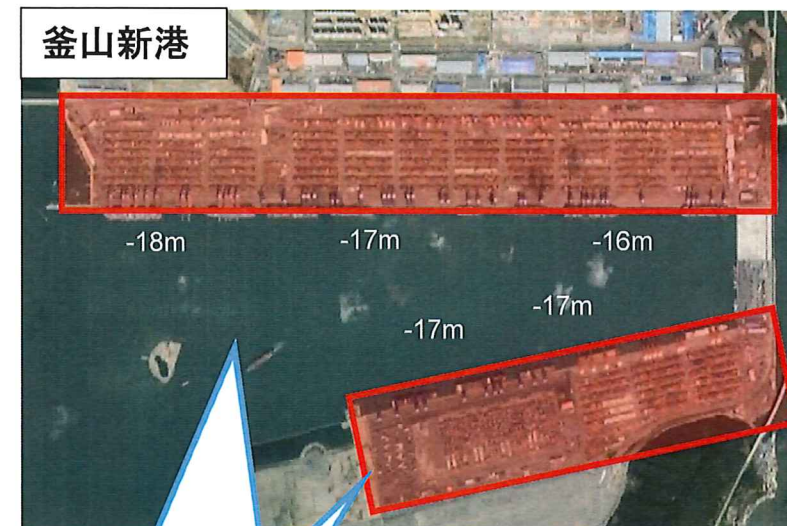
京浜港と釜山港の コンテナターミナルの比較（水深16m以上）

【東京港】



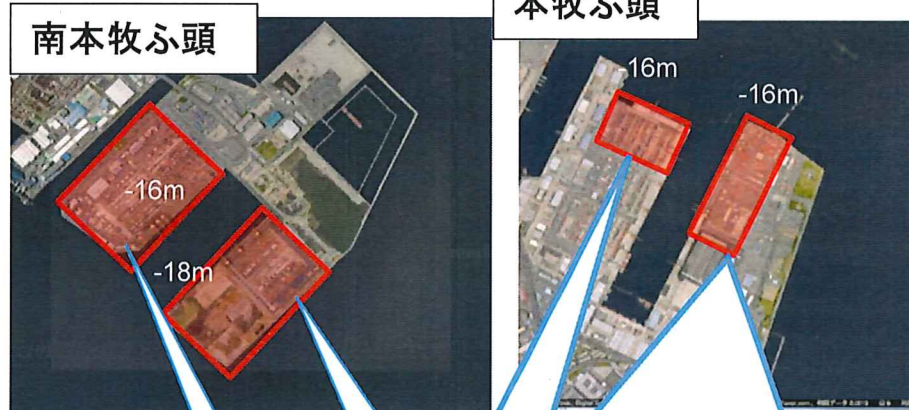
バース延長：400m
最大水深：16m
ガントリー
クレーン：3基

【釜山港】



バース延長：6850m
最大水深：18m
ガントリークレーン：69基

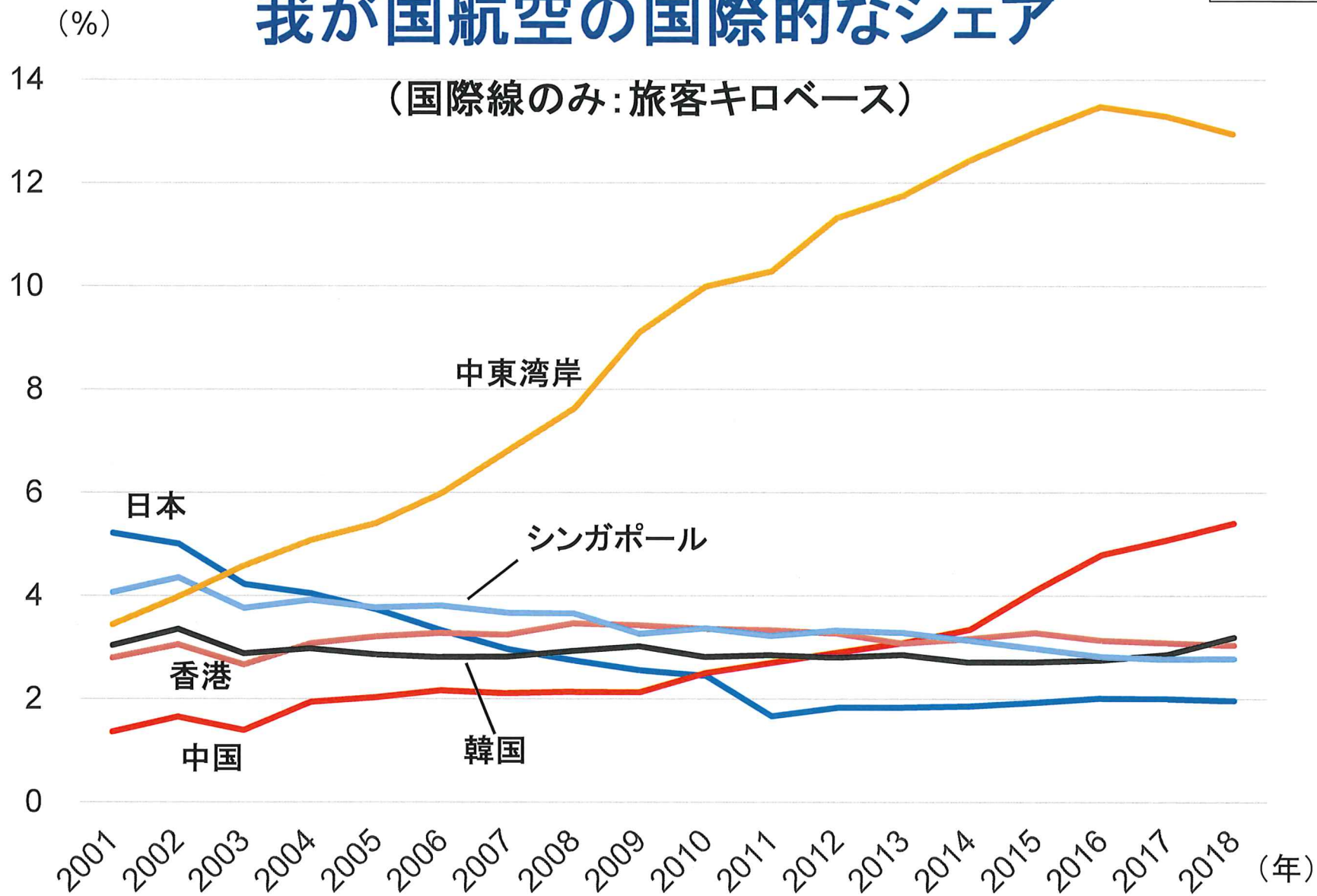
【横浜港】



バース延長：2690m 最大水深：18m
ガントリークレーン：20基



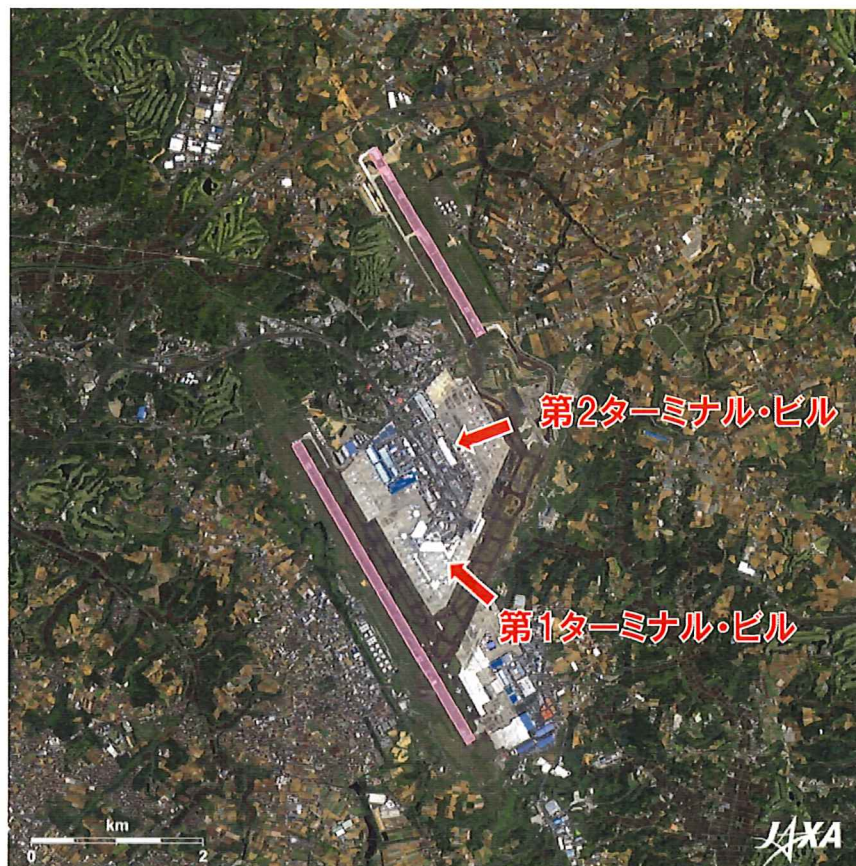
我が国航空の国際的なシェア



(注) 中東湾岸はUAE、カタール、サウジアラビア、オマーン、クウェート、バーレーンの合計。

令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料5
自由民主党・国民の声 足立 敏之
出典: ICAO Annual Report of the Councilを基に国土交通省作成、足立敏之事務所編集

成田国際空港と仁川国際空港



成田国際空港

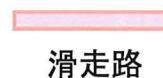
滑走路本数／合計延長(m) 2／6,500



仁川国際空港

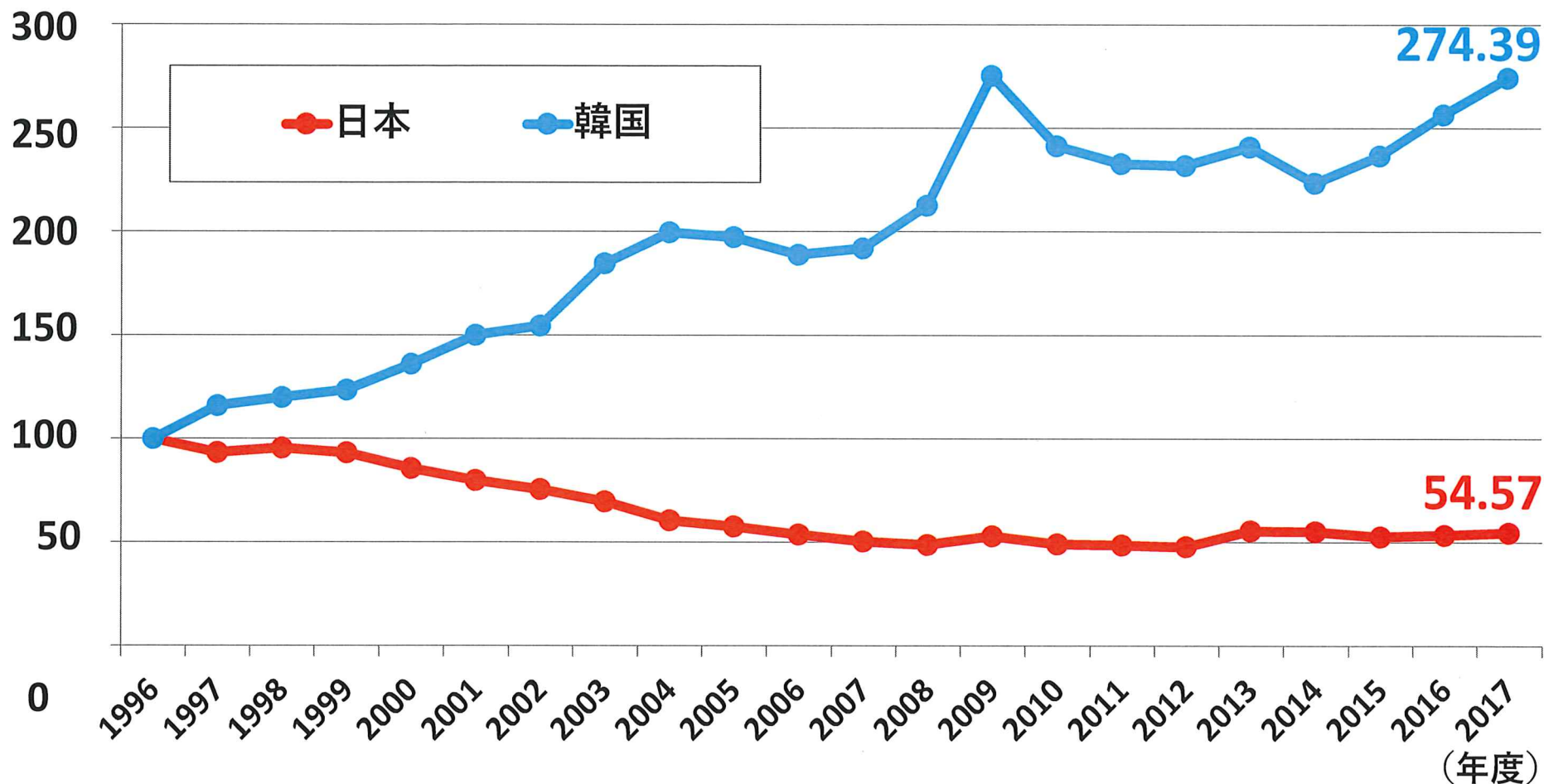
滑走路本数／合計延長(m) 3／11,500

(同縮尺/2009年5月撮影)



令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料6
自由民主党・国民の声 足立 敏之
出典: JAXA資料を基に足立敏之の事務所作成

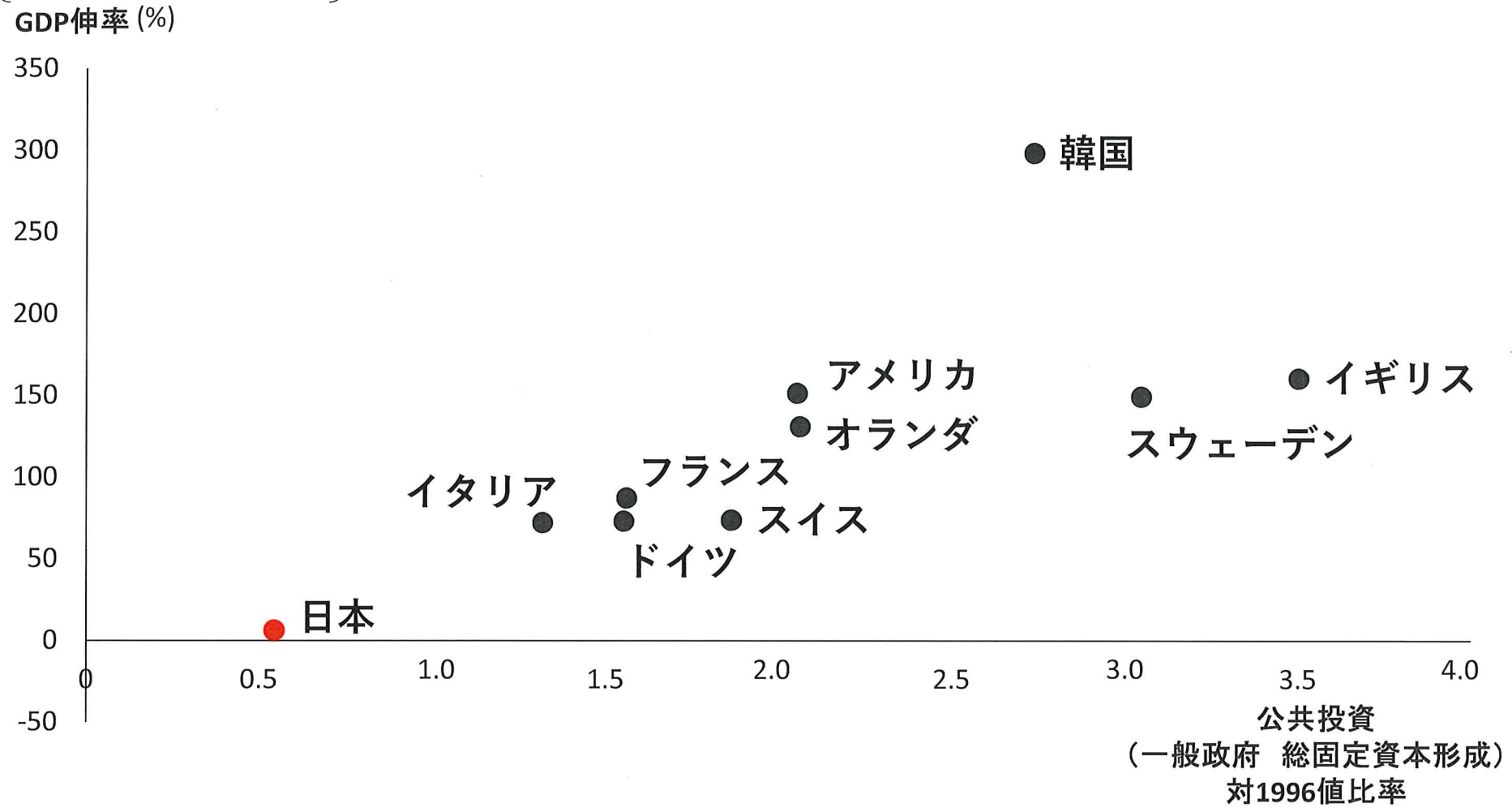
日本と韓国のインフラ投資の違い



※公共投資(一般政府総固定資本形成)の推移(平成8年を100とした指数)

公共投資とGDP伸率(対1996年度)

$$\left[\begin{array}{l} \text{伸率(\%)} = \frac{2017 - 1996}{1996} \\ \text{GDP伸率(\%)} \end{array} \right]$$



令和3年6月7日 参議院決算委員会 提出資料8
自由民主党・国民の声 足立 敏之
出典:内閣府及びOECD資料を基に国土交通省にて作成、足立敏之事務所にて編集